



大阪市立 矢田西小学校

- 所在地 公園南矢田2-15-43
- 電話番号 06-6699-1600
- HPアドレス <https://swa.city-osaka.ed.jp/swas/index.php?id=e741701>
- 校長 亀川 育寛
- 標準服 なし
- 集団登校 なし



学校概要

学校教育目標

人間尊重の精神を基盤にした、
人間性豊かな子どもを育成します。

めざす子ども像

【がんばる子】
【ともに生きる子】
【かがやく子】

- ・基本的な学力を身につけようとする子ども
- ・人権を尊重し、行動できる子ども
- ・違いを認め合い、ともに生きる子ども
- ・自分の良さを発揮する子ども

運営に関する計画

【安心・安全な教育の推進】

- 「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と考える児童の割合を増加させる。
- 不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。
- 命を大切にし、人権を尊重する心と態度を育成する。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

- 基礎学力の徹底を図る。
- 主体的で対話的な授業を推進する。
- 理科・英語教育の深化・充実を図る。
- 健やかな体の育成を図る。

【学びを支える教育環境の充実】

- ICTを活用した教育の推進を図る。
- 学校図書館を活用し読書への関心を高める。
- 教職員の働き方改革を推進する。

児童数・学級数

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	計
児童数	33	38	51	47	37	47	253
学級数	1	2	2	2	1	2	10
特別支援学級							5

全国学力・学習状況調査結果（令和6年度）

※全国・大阪市の平均についてはP12を参照

	国語	算数
平均正答率(%)	69	74

- 1 すべての子に確かな学力を身につけるために授業改善を行う。
- 2 学力の基礎となる挑む力・やりきる力を育てる。
- 3 互いに学び合い、高め合う集団を育てる。
- 4 学力状況の分析を行い、課題を明らかにして学力向上に取り組む。
- 5 家庭での学習習慣が確立できるようにする。

これらの取組の結果、粘り強く問題解決に取り組む姿勢が身についてきており、学習への意欲や自信が高まってきている。しかし、学習の定着が弱い領域もあることから、継続した指導を行っていく必要がある。学力向上は、1年間でできるものではなく、6年間の長いスパンを意識して取り組んでいく。また、人格の形成が学校教育の目標であり、学力向上に特化した教育にならないようバランス感覚を大切にしたい取組を進めていく。

全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果（令和6年度）

※全国・大阪市の平均についてはP12を参照

種目別 平均値	種目	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横跳び	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
	男子	15.13	18.96	31.41	44.96	47.81	9.44	155.31	21.00	52.63
	女子	13.83	19.00	34.37	44.17	33.95	9.75	144.32	15.79	53.44

本校では、毎年2学期にはランニング記録会とそれにともなったランニング集会、3学期にはなわとび週間などに取り組んできた。ランニング集会やなわとび集会の時期になると自発的に運動場を走ったり、なわとびをしたりしている児童も見られる。また各学年・学級においても休み時間にみんなで遊ぶ機会やペア学年での遊びの機会を設けている。多くの先生が休み時間に児童と一緒に遊ぶなど、元気に遊ぶことが日常化している。

また、本校児童は、運動やスポーツへの関心は高く、運動の日常化は概ねできているが、調査結果から、握力や上体起こし、長座体前屈といった、筋力、柔軟性に課題があることが分かった。休み時間や放課後など、児童が自発的に運動に親しむだけでなく、これらの課題を改善できるような体育科の学習に関する指導方法や教材・教具の工夫、指導計画の検討を行う必要がある。

学校行事の内容

- 4月 入学式・対面式・学習参観・地区別児童会（集団下校）
- 5月 家庭訪問・春の遠足・スポーツテスト
焼却工場見学（4年）・避難訓練
- 6月 一泊移住（5年）・土曜参観・避難訓練
大阪市展望（3年）・プール開き
- 7月 期末個人懇談会・たてわり大掃除
図書開放・学習会
- 8月 平和登校日
- 9月 避難訓練・修学旅行
- 10月 秋の遠足・人権デー
- 11月 運動会・秋さがし（1年）・読売新聞見学（5年）
敬老交流会（4年）
- 12月 期末個人懇談会・たてわり大掃除
大阪市探検（6年）
- 1月 矢田西子どもフェスティバル
- 2月 学習参観・懇談会
- 3月 卒業生を送る会・卒業式



家庭・地域との連携

矢田西小学校区教育協議会「はぐくみねっと」では、教職員、家庭、地域の方と連携してさまざまな取り組みを行っています。子どもたちの登下校を見守る「見守り隊」の活動や、地域のお年寄りの方と交流する「敬老交流会」、地域のみなさんで花火を鑑賞する「矢田西ふれあい花火大会」を行っています。

また、地域の方をゲストティーチャーに招いて、「むかし体験学習」や地域の伝統野菜である「田辺大根」を植えて収穫する活動、「田植え・稲刈り体験」を行っています。



縦割り活動

1年を通じて毎週木曜日の朝に「たてわり班遊び」を行っています。遊びの内容は6年生を中心にアイデアを出し合って計画をします。低学年にも配慮された自分たちで考えたルールの中で、毎週楽しい時間を過ごしています。児童が主体的に行動し、遊びの中に「協働的な学び」に通ずるところが多くあります。



土曜授業の内容

6月に地震・津波の際の避難訓練と様々な体験を通した防災学習を行い、児童の防災意識を高めています。また、11月には人権に関わる内容の学習を行う「人権デー」を実施します。世界の文化や風習、身近な友だちとの関係まで、様々な場面や場所における人権課題について知り、自分の暮らしと比較しながら、今の自分を見つめ、これからの過ごし方について考える一日です。



子どもたちの様子

登下校の際には、「おはようございます」「さようなら」と大きな声であいさつできる児童がたくさんいます。授業中は集中して学習に取り組み、たくさん手を挙げて発言する姿が見られます。休み時間には、元気よく外に出て、友達と仲良く遊んでいます。

小中連携の状況

6年生が中学校へスムーズに進学できるように、中学校の先生による授業や文化祭の演劇鑑賞、生徒会による学校説明会等の交流行事を行っています。これらの行事を通して、中学校への進学に希望をもたせ、不安感が軽減できるようにしています。

また、教員間の連携を行い、小中一貫した教育が展開できるよう努めています。